

はじめに

令和3年10月に施行された「脱炭素社会の実現に資する等のための建築物等における木材の利用の促進に関する法律」において、脱炭素社会の実現が位置づけられ、木材利用促進の対象が、公共建築物から民間建築物を含むすべての建築物に拡大されました。

県においても、令和4年7月に「鹿児島県建築物等木材利用促進方針」を策定し、公共建築物のみならず、従来非木造であった民間建築物についても、木材利用の促進に取り組んでいます。

今回、建築物における木材利用について広く県民の関心と理解を深めるとともに、建築物へのかごしま材の一層の利用促進が図られることを目的として、「第2回かごしま材利用建築物コンクール」を実施しました。

実施に当たっては、関係者の皆様に多大な御協力をいただき、訪れた人を魅了するデザインや機能性、地域環境と調和した木質空間など、今後の木造建築物の広がりが期待できる建築物の応募がありました。

当パンフレットについては、特に優れた建築物として表彰された5施設を皆様に紹介することで、多くの県民の皆様に木の良さやぬくもりを感じていただき、建築物への木材利用への理解が深まることを期待し作成しました。

今後、新しい木質材料や構法を活用した木造建築物が県内各地に建築され、身近なところで木に触れる機会が増加することを期待しています。

鹿児島県環境林務部かごしま材振興課

総評

建築物における木材利用について広く県民の関心と理解を深めるとともに、建築物へのかごしま材の一層の利用促進が図られることを目的として、今年度「第2回かごしま材利用建築物コンクール」を実施しました。

かごしま材を活用し、意匠性が高いなどPR効果が期待できる建築物（戸建て住宅以外）について募集したところ、「木造又は木造との混構造の部」に9点、「内装木質化の部」に5点、合計で14点の応募をいただきました。

審査は、かごしま材利用建築物コンクール選定委員会において、一次審査（書類審査）と二次審査（現地審査及び受賞建築物の決定）を行いました。

選定委員会では、応募のあった建築物に対し、木材の利用状況、デザイン性・機能性、他の建築物への波及効果等について、各委員の見地からの活発な議論が行われ、「木造又は木造との混構造の部」では最優秀賞1点、優秀賞2点、特別賞1点の計4点、「内装木質化の部」では最優秀賞1点を選定しました。

なお、受賞建築物の特徴及び評価のポイントについては次頁以降のとおりです。

最後に、応募いただいた方々の建築物におけるかごしま材利用の取組と御理解に敬意を表しますとともに、引き続き、木材利用の促進に御協力いただきますようお願い申し上げます。

かごしま材利用建築物コンクール
選定委員会 委員長 西 正智

対象建築物

かごしま材を活用し、かつ令和4年4月1日から令和7年6月30日までに竣工した、次のいずれかに該当する鹿児島県内に現存している建築物

ただし、戸建て住宅および国・県が整備したものは除く

- (1) 木造又は木造との混構造建築物
- (2) 非木造であるが内装木質化した建築物

表彰の部門

- (1) 木造又は木造との混構造の部
- (2) 内装木質化の部

※部門ごとに、最優秀賞（1点以内）、優秀賞（2点以内）とし、必要に応じて、特別賞を設ける

選定委員

役 職	氏 名	職 名
委員長	西 正智	鹿児島県環境林務部長
委 員	古川 恵子	鹿児島女子短期大学 名誉教授
	鷹野 敦	鹿児島大学大学院 理工学研究科 建築学専攻 准教授
	井之上 由美子	(一社)鹿児島県建築士事務所協会 理事
	深野木 信	(一社)建築協会 副会長
	小林 孝幸	(一社)林材協会連合会 専務理事
	門田 夫佐子	(株)南日本新聞社 論説委員会 委員長

木造又は木造との混構造の部 最優秀賞

》小浜ヴィレッジ《

用 途／多目的交流施設
所在地／霧島市隼人町
建築主／株式会社 住まいず
設計者／株式会社 フジワラテッペイ
アーキテクトラボ
施工者／株式会社 住まいず
構造等／木造、地上2階
延床面積／1207.11m²
木材使用量／346.60m³
かごしま材使用量／315.80m³
主な使用樹種／スギ

建築物の特徴

- ・地元産スギ材のぬくもりや開放的な木造空間により、訪れる人々に居心地の良さを提供できる施設。
- ・伝統的な三角焼きによる耐候性の高い焼杉を外壁に活用。
- ・焼杉の外壁は実無しビス留めとし、劣化部分のみを交換できるよう経年後の修繕面を工夫。
- ・大径木を積極的に活用し、森林資源の循環利用等に貢献。

評価のポイント

- ・複数の店舗や施設で構成され、施設全体の規模が大きく、木造のインパクトが強調されており、非常に高い木材利用のPR効果がある。
- ・一般材による木構造を基本としつつ、屋根にCLTを使用するなど、木材をふんだんに使用している。
- ・海に面していることから耐候性の高い焼杉を外壁に使用し、外観のアクセントとしての効果も発揮されている。
- ・地域を取り込む村づくりに木を活かし、地域の拠点となるよう努力し続けていることは、木の魅力を伝えることにもつながる。

内装木質化の部 最優秀賞



《 始良市役所本庁舎 》

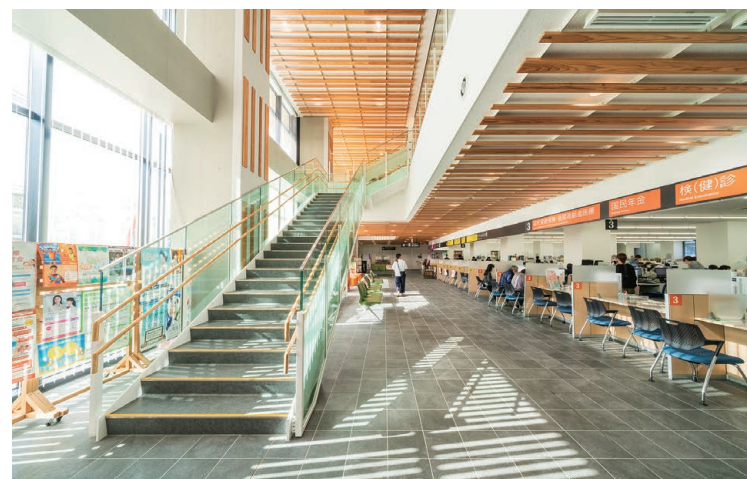
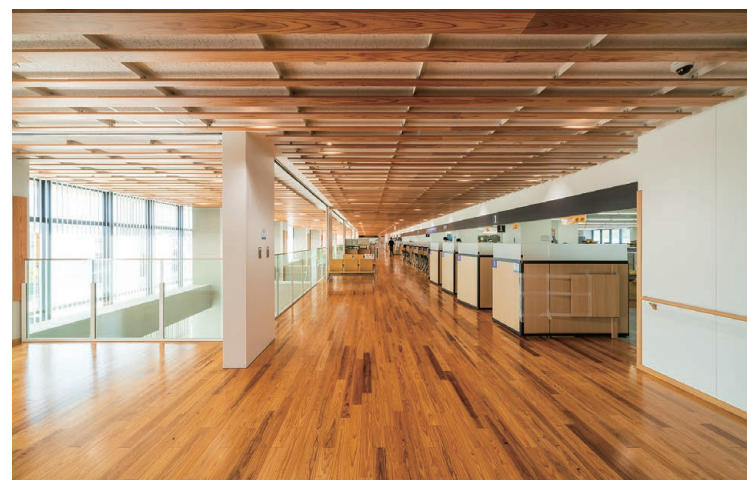
用 途／庁舎・事務所等施設
所在地／始良市宮島町
建築主／始良市
設計者／山下設計・永園設計・ゲンブラン設計業務
委託共同企業体
施工者／フジタ・渡辺・福永特定建設工事共同企業体
構造等／鉄筋コンクリート造，地上5階
木材使用量／23.55m³
かごしま材使用量／23.55m³
主な使用樹種／スギ

建築物の特徴

- ・利用頻度が高い窓口や共有部を木質化することで，多くの市民に木の良さを体感してもらうことができる施設。
- ・天井ルーバーは見付面を広く取ることで，木材の温かみを感じさせる表情を持たせ，幅に一定のリズムをつけることで，人目を惹くようにデザイン。
- ・ルーバー部材の長さを短く一定に揃えることで，小部材単位での維持・修繕が可能となるよう設計・施工。
- ・内装仕上げ材はモノトーンを基調とし，スギの温かみが際立つようにコーディネート。
- ・始良市産杉材を活用している旨のPRポスターを掲示。

評価のポイント

- ・コストを抑えながら広い面で木材を感じられ，他の自治体への波及効果が期待できる。
- ・天井ルーバーによってライティングの効果が格段と上がっている。ダウンライトがまぶしくなく，床に反射することで木材の持つあたたかみが強調され，柔らかな光が広がっている。
- ・始良市産のスギのPRパネルを展示し，木材利用推進に効果がある。



木造又は木造との混構造の部 優秀賞



》 enefil 吉野 《

用 途／事務所等施設
所在地／鹿児島市吉野町
建築主／日本ガス 株式会社
設計者／トラス・アーキテクト株式会社
施工者／日本ガス住設 株式会社
構造等／木造，地上2階
延床面積／474.47m²
木材使用量／117.56m³
かごしま材使用量／81.17m³
主な使用樹種／スギ

建築物の特徴

- ・木質ラーメン構造による大スパンの空間を実現した施設。
- ・柱，梁等には大断面集成材，天井部にはスギ CLT を使用。
- ・木造建築物の良さを感じてもらうための集客イベントを開催。
- ・HP，パンフレットを活用し，かごしま材の良さを発信。

評価のポイント

- ・建物は事務所やイベント会場として活用しており，非住宅分野の木造施設としてPR効果が高い。
- ・構造材を現しとし，床もオーク材を使用して木の柔らかさや温かさを感じることができるなど，木の活かし方に工夫が凝らされている。
- ・建物内部から桜島が見通せるなど，眺望も考慮した配置で設計・施工されている。

